

三田市長

2023年 1月27日

森 哲男様

全日本年金者組合三田支部
支部長 XXXXXXXXXX

要 望 書

1. はじめに

市政運営にご精励のことに敬意を表します。

私たちは、高齢者が健康で安心して生活が送れる社会の実現と、各種の交流事業を通じて楽しく元気がでる活動を続けている組織です。

国がすすめる政治のもとで、電気・ガス代や多くの食料品などの物価高騰による負担増、そのうえ、高齢者の医療費の窓口負担増や年金額の引き下げなどによって、日常生活の面で厳しい状況におかれています。

国の政治によって、医療や福祉、生活が脅やかされているもとで、地方自治体として市民の命と健康、安心・安全を第1に暮らしと営業を守る対策とともに、市民の声に耳を傾け、暮らしを応援する市政へ、その役割を果たされるよう強く要望します。

つきましては、組合員から寄せられた声をまとめ、以下の通り要望します。ご検討のうえ誠意ある回答をお願いします。

要 望 事 項

(1) コロナ禍のもとで市の取り組みについて

- ① コロナの新しい変異株のもとで、ワクチン接種が進むもとでも、感染者が増え、死亡者も増え続けています。三田市での感染状況、死亡者数が不明確であり、市民は不安を抱えながら日々を送っています。市として、感染者数や入院者数の掌握、保健所との連携など具体的な対策をどのようにとられているのか。
- ② 特に、高齢者施設での検査体制や感染者への対策など十分にとられているのでしょうか。

(2) 三田市民病院を公立として存続させ医療体制の充実を図ること

- ① 現在、急性期医療の確保・充実という大義名分のもとで、市民病院と済生会病院との統合が市民の声も聞かずに進められようとしています。もし統合された場合、現在授かっている市民病院での急性期医療が今までと変わることなく授かることができるのでしょうか。そして、10万市民の命と健康を守ることが出来るのでしょうか。特に、経営が民間に委ねられるもとで、市民の医療を守り・充実させるために市の責任をどのように果たされるのでしょうか。
- ② 「若手医師が集まる魅力ある病院」にするための最も基本的な課題である、診療体制、医師体制は一体どうなるのかを市民に示すべきではないでしょうか。

(3) 国保税の負担軽減をはかること

- ① 国保税の負担軽減をはかるために、県下の多くの市町が行っている一般会計からの法定外繰入を行うこと。
- ② 「所得の激減」を「5割」から「3割」に拡大するなど市独自の減免制度を充実させること。市独自の減免については、被保険者の負担ではなく、市の一般会計で負担すること。

(4) 介護制度の改善・充実と高齢者福祉対策を急ぐこと

- ① 必要な介護や要支援1・2が利用する通所型サービスB施設（高齢者ふれあいディサービス）の全市的な設置への支援など市独自の支援策を充実すること。
- ② 深刻な老々介護の実態を市の責任で早期に把握し、市として負担軽減策を講じること。
- ③ 特別養護老人ホームへの入所待機者数に見合う施設を確保すること。

(5) 高齢者および交通対策の強化をはかること

- ① 「高齢者交通費助成」の助成額を増額すること。また、JRへの利用拡大をはかること。
- ② 市の責任で、「コミュニティバス」の運行や「デマンドタクシー」の導入など外出を支援すること。
- ③ 新三田駅にエスカレータの設置をJRに求めること。

(6) 高齢者の交流とゴミ出し支援策の充実

- ① ゴミ出し困難者への戸別収集を実施すること。前回の要望以降の具体的な検討内容は。
- ② 兵庫県は、高齢者の補聴器活用調査事業として補聴器購入補助制度を1年間のみの事業として実施しています。1年間で終わらすのではなく継続して行うよう県に要望すること。あわせて、市独自でも補助制度を導入すること。

以上